



TUS Journal

今年世界遺産に登録された国立西洋美術館 ©国立西洋美術館



特集

世界遺産を支える

vol. 203

物華天宝 「山の日」に思うこと

今年から8月11日が休日になった。「山の日」とのこと。「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する」を趣旨としている。とはいえ、山に関する特別な出来事等に由来する訳ではなく、今一つその意味に疑問をもってしまふ。我々日本人が大事と考えるべき日が、8月には幾つもあるのではなかったか？ 6日は広島への原爆投下、9日は長崎投下、そして15日が終戦の日。

8月6日朝、「今日が何の日か、知らない若者が多くなりました」とテレビでコメンテーターの言葉。9日も15日もしかり。そのことに危機感をもつならば、メディア自身

がこれらの日の番組編成を考え直すべきであろう。唯一休日の無い月となった6月に関していえば、20万人もの戦没者を出した沖縄戦を振り返り、未だに解決できない米軍基地問題を全国民が直視する日として、23日を休日にすべきではないか。私達の国日本は、先の戦争で300万人を超える犠牲者を出し、被爆という未曾有の体験をした希有な国なのである。これらの日を休日として、国を挙げて「平和」を考えその尊さを世界に発信することは、我々に課せられた責務と捉えるべきではないだろうか？
(薬学部 生命創薬科学科 教授 深井文雄)

Headline

- | | |
|-------|--------------------------|
| 02-03 | 特集 世界遺産を支える |
| 04 | オープンキャンパス開催 |
| 05 | 名誉教授称号授与 |
| 06 | Labo Scope |
| 07 | 諏訪東京理科大学ニュース |
| 08 | 平成28年度
国家公務員採用総合職試験結果 |

世界遺産を支える

今年7月、国立西洋美術館が「ル・コルビュジエの建築作品—近代建築運動への顕著な貢献—」として世界遺産に登録されました。これを記念して、国立西洋美術館の世界遺産登録に尽力された理工学部建築学科の山名善之教授、そして、2015年に世界遺産に登録された長崎県の端島（軍艦島）の保存・修復技術開発に取り組んでいる工学部建築学科の今本啓一教授にお話を伺いました。

HERITAGE 1

国立西洋美術館

ル・コルビュジエの建築作品—近代建築運動への顕著な貢献—

東京都



©国立西洋美術館

©国立西洋美術館

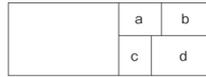
©国立西洋美術館

©国立西洋美術館

©国立西洋美術館

ル・コルビュジエの唱えた「近代建築の5つの要点」

- ピロティ**
「旧来の石造ではなく、鉄筋コンクリートの柱と梁で支えられた建物である」というル・コルビュジエのマニフェスト(宣言)の役割を果たす。
- 屋上庭園**
屋根を水平面にすることで、屋上に庭園をつくることのできるようになった。
- 自由な平面**
石の構造壁が不要になることで、壁を自由に配置して部屋の広さや配置を自由につくれるようになった。
- 横長の窓**
石の構造壁がなくなることで、広い開口部を確保して自然光をふんだんに取り入れることが可能になった。
- 自由なファサード**
建物の顔にあたる正面部分も、建物を支えるための機能から解放され、自由に設計することが可能になった。



a. 本館展示室 / 19世紀ホールを囲む回廊空間。天井は高い部分と低い部分があり、空間に変化をもたらしている。b. ピロティ / 美術館のエントランス部分。雨や強い日差しを避けることのできる、ゆとりある空間。c. 19世紀ホール / 1階中央にある19世紀ホールは、三角形の天窓から自然の光が降り注ぐ吹き抜けの空間。d. スロープ / 階段とは異なり、空間の動線を美しくながら上の階へと移動することができる散策路。

国立西洋美術館
所在地 〒110-0007 東京都台東区上野公園7-7
開館時間 9:30~17:30 (冬期は~17:00)、金曜日~20:00 土曜日は常設展~20:00 企画展~17:30 ※入館は閉館の30分前まで
休 館 日 月曜日 (休日の場合は翌火曜日)、年末年始
U R L <http://www.nmwa.go.jp/>

国境を越え、世界が共有できる世界遺産へ

「近代建築の父」とも言われる建築家、ル・コルビュジエ(1887 - 1965年)。スイスで生まれ、20世紀初頭から建築家として主にフランスで活躍し、20世紀以降の建築に非常に大きな影響を与えました。それまでの建築物は石やレンガを積み上げた分厚い壁で建物を支えるものでしたが、ル・コルビュジエは鉄筋コンクリート、ガラスなど新しい素材を駆使し、柱で建物を支える技法を確立しました。山名教授は、今回の世界遺産登録の意義について、こう語ります。「20世紀は、情報や技術が国境を越え、人々が共有できるようになった初めての時代です。それ以前の西洋建築は様式主義で、特権階級の人々のために宮殿をつくるのが建築の仕事でした。それに対してル・コルビュジエは、『住宅は住むための機械である』と主張して機能的かつ合理的な建築を量産可能なものにし、自由な建築、自由な都市をつくらうとしました。近代建築の概念を確立し、それを世界に広めたル・コルビュジエの功績を讃えるためには、単に「ル・コルビュジエの作品群」ではなく、「ル・コルビュジエがつくりあ

げた近代建築文化圏」として評価されることが必要でした。その意味で、大陸をまたぐ作品群が一括登録されたことの意義は大きいと思います」今回、世界遺産に登録されたのは、日本、フランス、ドイツ、アルゼンチン、ベルギー、インド、スイスの7カ国にある住宅や工場、礼拝堂など17の建築資産です。日本で唯一のル・コルビュジエ建築である国立西洋美術館は、1955年に来日したル・コルビュジエが基本設計を行い、彼の弟子である坂倉準三、前川國男、吉阪隆正の3人がより具体的な実施設計を行って1959年に竣工しました。「無限成長美術館」というコンセプトのもと、建物の中心にある19世紀ホールを取り囲むように、展示空間が角ばった螺旋状に配置されています。美術作品が増えなくても必要に応じて外側へ増築して展示スペースを確保できるというもので、美術館として無限に拡大していくことを可能としています。山名教授に、国立西洋美術館の見どころを解説してもらいました。「この建物は、ル・コルビュジエが提唱した『近代建築の5つの要点(ピロティ、屋上庭園、自由な平面、

横長の窓、自由なファサード)』を軸に設計されています。館内にも、天井から取り入れられる自然光や、壁をなくし柱と平面で成り立つ構造など、5つの要点がふんだんに生かされています。また、『建築的プロムナード』の要素もル・コルビュジエ建築の特徴です。国立西洋美術館では、ゆるやかなスロープが19世紀ホールと2階を結んでいて、視点の移動によって空間がゆっくりと変化していくようを楽しむことができます」このように、国立西洋美術館はル・コルビュジエ建築の特徴が端的に表現された作品です。この機会にぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか。

理工学部建築学科 山名善之(やまの・よしゆき)教授
1990年東京理科大学工学部第一部建築学科卒業。青山アトリエ / 環境造形研究所、仏バリエル建築学校 DPLG課程、仏バリエル建築学校、ソルボンヌ校博士課程修了。仏アンリ・シリニア・アトリエ、仏ナント建築大学契約講師などを経て、2002年東京理科大学工学部第二部講師、05年間助教授、14年から現職。ICOMOS(国際記念物遺跡会議)、近代建築保存の国際学術組織DCCOMMOのメンバー。

HERITAGE 2

端島炭鉱(軍艦島)

明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業

長崎県



長崎市の特別な許可を得て掲載。

当時

1960年ごろの軍艦島。最盛期には約5,300人が暮らし、人口密度は東京の9倍だった。



現在

現在の軍艦島。劣化が深刻で、地震などに耐える力が著しく低下していると診断された。



調査

コンクリート構造物から試料コアを抜き取るなどして、壁面および内部の劣化状況を調査。



あるがままの姿で軍艦島を保存する

今 本研究室では、黎明期の鉄筋コンクリート(RC)造建築物の保存・修復を目的として、素材の劣化調査診断や、保存技術のバリエーションを拡張するための研究を行っています。「私たちは2011年から、長崎市の委託を受けた日本建築学会『軍艦島コンクリート構造物劣化調査ワーキンググループ』の一員として、軍艦島に存在する構造物を調査・分析し、劣化・損傷状況の評価や将来予測などを行ってきました。現在は、具体的な補修・保存方法の提案につなげるための研究という新たなフェーズに移行しています」軍艦島に現存する、日本最古といわれるRC造集合住宅を含めた建築群は、長い年月にわたって人の手が入らず、塩害や風雨にさらされる厳しい環境下に置かれたため、著しく劣化しています。鉄筋やコンクリートの老朽化による建築物の崩壊は世界各地で刻々と進んでいますが、これほど損傷が進んだ歴史的RC造建築物の保存は世界的にも例がないため、学術的にも貴重な「研究資源」といえるのです。「一般的に『建物の補修』と言えば、劣化した部分を除去して竣工当時の状態に近づけることを意味します。し

かし、軍艦島のケースでは事情が異なります。鉄筋がむき出しになり、コンクリートがひび割れている「废墟感」は、この島の重要な価値にもなっています。そのため、建物を健全な状態に戻すのではなく、「崩壊寸前の状態を維持する」ための補修が求められているのです」今年10月には、学会の調査の一環として実験室で人工的に鉄筋を腐食させた状態や、表面にひびが入った状態のコンクリートブロック約200体を現地に運び込みました。「35種類の補修材料・工法を施した試験体を作製し、現地の環境に10年間さらすことで、どのような変化が起きるかを調べる暴露実験を行います。これらの試験体について鉄筋の腐食抑制効果や補修材料の浸透状況などを評価することで、適切な補修方法を提案するのが目的です」今本教授は、軍艦島のような歴史的建築物の保存法に「正解」はない、と考えています。「今後、さらに研究が進むことで、新たな知見や技術が蓄積されていくことは間違いありません。歴史的建造物の価値をどう捉えるかは、その時代を生きた人々

が議論して決めるべきこと。私たちはその議論の材料として、できるだけ多くの選択肢を残し、後世の人々にバトンを渡したいと思っています」世界遺産登録を目前に控えた昨年6月には、長崎市でコンクリート構造物の再生と保全をテーマにした国際会議が開催されました。この会議には、世界20カ国から約250人の専門家が集まり、軍艦島を訪れました。「コンクリート研究は、新しい建物を建てるためだけではなく、既存の建物の保全にも大きく関わっています。世界遺産登録を機に、軍艦島が鉄筋コンクリートの耐久性に携わる研究者・技術者にとっての貴重な研究資産として位置づけられ、やがて全世界の鉄筋コンクリート耐久性研究のメッカになることを期待しています」

工学部第二建築学科 今本啓一(いまもと・けいいち)教授
1990年東京理科大学工学部第一部建築学科卒業。92年東京理科大学大学院工学研究科建築学専攻修了。同年、東急建設株式会社入社。93年東急建設技術研究所建築材料研究室。2001年足利工業大学専任講師。同助教授、准教授を経て、08年から東京理科大学准教授、14年から現職。

Labo Scope

12

コンピュータに「問題の解き方」を教えることで複雑な計算を「超高速」で処理することが可能に

大学のさまざまな先端研究を紹介する「Labo Scope」。今回は、東大の数学入試問題をも解けるコンピュータプログラムに取り組む、「計算機代数」の研究を紹介します。

自動車やロボットの設計など、現代の“ものづくり”において、コンピュータは欠かせない存在です。また、インターネット社会のセキュリティ基盤である暗号化技術をはじめ、天体物理、材料科学、構造力学などあらゆる研究分野においてもコンピュータによる計算は欠かせません。このような複雑で精緻な計算を行うのが「数式処理システム」と呼ばれるソフトウェアです。

コンピュータによる通常の「数値計算処理」では、数式の計算を数値で行い、割り切れない場合には近似値（実用にさしつかえない程度の誤差を含んだ値）を求めます。それに対して数式処理では“数式を式のままで記号的に処理する”ため、誤差のない正確な計算が可能となるのです。

理学部第一部数理工学情報科学科*・佐藤洋祐教授の研究室では、数式処理システムで入試問題を解く



数式処理システムで入試問題を解く

システムのためのアルゴリズムについて研究・開発しています。

「アルゴリズムとは、ある特定の問題を解く手順を、単純な計算や操作の組み合わせとして明確に定義したものです。多くの数式処理システムにはプログラム言語が含まれていて、ユーザーは自分の作ったアルゴリズムをプログラミングして組み込むことができるようになっています。コンピュータは、与えられた手順に従って複雑な数値計算を自動的に行うことは得意ですが、“どのように計算したらよいか”を自ら考えることはできません。そこで、効率的なアルゴリズムを考案し、それをソフトウェアとして実現することで、物理学や数学などさまざまな分野の計算に役立つようというのが、私たちの研究テーマです」

コンピュータに数式処理を行わせる試みは、1960年代の初めごろから行われてきました。その後、1980～90年代に安価で高性能なパーソナルコンピュータが普及し、個人で使うことのできる数式処理システムが登場すると、「Computer Algebra（コンピュータ・アルジェブラ＝計算機代数）」とい



理学部第一部数理工学情報科学科* 佐藤洋祐 (さとう・ようすけ) 教授
1979年名古屋大学理学部数学科卒業。83年神戸大学理学部数学科修士課程修了。88年ニューヨーク州立大学バッファロー校大学院数学科博士課程修了。87年財団法人新世代コンピュータ技術開発機構研究員。93年立命館大学理工学部助教授。98年同教授。2003年から現職。

う数学分野が定着します。

「現在、実務や教育の現場で最もよく使われている数式処理システムには『Mathematica（マセマティカ）』や『Maple（メイプル）』などがあります。このように高度で双方向的なプログラム開発環境が一般的なものになったことによって、計算機代数の分野に多くの数学研究者が参加するようになってきました。こうしたプロセスを背景に、数式処理システムに高度な数学を駆使したアルゴリズムが取り入れられる傾向が加速しているのです」

佐藤教授が確立したアルゴリズムを用いたプログラムによって、現在では、東大入試の数学問題も半分以上解けるようになりました。佐藤教授は、神楽坂オープンキャンパスで「コンピュータは受験生より賢いか？ 大学入試問題の正統な解き方」と題して模擬講義を行い、数式処理の魅力を高専生たちに伝えています。

「この分野では現在、世界中の研究者たちがしのぎを削っています。世界を相手に戦っているのだ、と思うと、わくわくする日々ですね」

*2017年度から数理工学情報科学科は応用数学科に名称変更します。

諏訪東京理科大学の公立大学法人化を目指し、諏訪地域6市町村と基本協定を締結

諏訪地域6市町村（岡谷市、諏訪市、茅野市、下諏訪町、富士見町、原村）と学校法人東京理科大学は、諏訪東京理科大学の設置者を諏訪地域6市町村による一部事務組合が新たに設立する公立大学法人に変更することを目指し、8月24日（水）に基本協定を締結しました。

2018年4月の新公立大学の開設を目指し、今後調整が進んでいく予定です。



調印式に参加した本山和夫理事長（右から4人目）

「科学のモダン」プロジェクト in オープンキャンパス アロマテラピー体験で科学を身近に感じよう!、を開催

8月8日（月）に行われたオープンキャンパス（野田キャンパス）にて、「科学のモダン」プロジェクトのイベント「女子中高生向けワークショップ“アロマテラピー体験で科学を身近に感じよう!”」を開催しました。

今回のイベントは、本学卒業生で日本アロマコーディネーター協会主任講師の橋本佳津美さんによるアロマテラピーに関するワークショップを通じて、中高生の皆さんに科学を身近に感じてもらうことを目的としており、一日を通して100人以上が参加しました。ワークショップ終了後は講師や本学の現役大学生とのカフェ・トークタイムもあり、こちらも盛況でした。



アロマ作りを行う参加者
参加者からは「新しいことを知ることができた。よかった。体験型で良かった。また参加したい」といった感想が寄せられました。

NEWS 高専キャンパス 理科大サイエンス道場を一般開放

9月1日（木）から葛飾キャンパスの「理科大サイエンス道場」を一般開放しています。理科大サイエンス道場では、本学教員の活用が期待される研究成果を分かりやすく紹介しています。特に、藤嶋昭学長の代表研究成果である光触媒の基本作用を体験できる「光触媒体験コーナー」は必見です。

開館時間／10:00～16:00
(15:30受付終了)
開館日／月曜日～金曜日
(土・祝日は休館日)
入場料／無料



近代科学資料館 企画展 「数にひそむ美 Beauty hidden in Mathematical Science」開催

数学を芸術に取り込む試みは、いつの時代でも行われてきました。この企画展では、数学の理論に裏打ちされた作品を展示し、数学と芸術に関する物づくり教室も行います。

開催日程／10月15日（土）～12月10日（土）
(日・月・祝日は除く)

関連イベント／物づくり教室、ギャラリートークなど
作品展示例／

- 東京大学大学院数理工学情報科学科 幾何学模型
- 女子美術大学美術館 エッシャー「物見の塔」
- 手嶋吉法（千葉工大） 数学曲面の立体図形、多面体、空間充填模型
- 高木隆司（農工大）+山岡久俊 多項式から生まれるパターン+書
- 東京理科大学 明治期の菱田為吉多面体模型と図面



問い合わせ／近代科学資料館

諏訪東京理科大学ニュース

工学部「海外インターンシップ」の実施と成果

工学部では今年度から、グローバル社会に対応できる思考力、判断力、表現力を身に付けるため、海外の企業で就労体験を行う「海外インターンシップ」を開講しました。今年度は8月21日（日）

から29日（月）の9日間、ベトナム・ホーチミンにて、電気電子工学科とコンピュータメディア工学科の2、3年生10人が、医療機器の研究開発、生産を行っているMetran Vitecにて酸素濃縮器

や同調器などの組み立てや検査を体験しました。この他、車載の電線の製作、配線を手掛ける、VIET NHATの工場や、ホーチミン工科大学も訪問しました。このうちホーチミン工科大学で開催されたセミナーでは、本学の学生数名もプレゼンテーションを行いました。休憩時間や昼食の時間には現地学生と盛んに交流し、互いに親睦を深めました。

学生たちは3カ所でのさまざまな体験から得るものが多く、とても刺激を受けた様子で、今後の学園生活や就職活動に大いに役立つことが期待できます。



サイエンス夢合宿を開催

7月30日（土）、31日（日）の1泊2日の日程で、生涯学習センター公開講座「サイエンス夢合宿」が開催されました。長野県内各地から小学校5、6年生とその保護者80人が参加し、本学の教員や学生とともに親子でサイエンスの体験学習に取り組みました。

1日目の「体験コース」では、液体窒素やプリズムを使った体験、ロボット操縦やプログラミングの体験などを、2日目の「ものづくりコース」では6つのコースに分かれさまざまな作業を行いました。中でもペットボトルロケットは校舎を

飛び越えてしまうものもあり、たいへん盛り上がりました。また、夜の特別講演会では星についての講演と観察が行われました。当初は雨模様でしたが最後の保護者80人が参加し、土星の輪が見えた時には驚きの声が上がりました。

この他にも、花火大会や広い校舎を駆け回るクイズラリーなど楽しい企画が満載で、最初は緊張気味だった子どもたちも最後にはすっかり仲良しになっていました。

来年も、たくさんの笑顔と出会うことを楽しみにしています。



2016年度 オープンキャンパスを開催

6月下旬から9月上旬にかけて計4回のオープンキャンパスを開催し、約800人の皆さまにご来場いただきました。保護者の皆さまにも多数ご来場いただき、学科の教育内容や研究内容、入試制度などの説明に親子で聞き入っている姿も多く見られました。来場者の方からは「自然に囲まれた静かな環境で勉強に専念できそうだった」「学生と教員の距離が近く、良い雰囲気だと思った」「深く理解できる学修環境が整っていると感じた」「進学にあたっての不安を解消でき良かった」などの感想が聞かれ、本学について、より理解を深めていただけた様子でした。

2016年度 オープンキャンパス、入試相談会日程

- 10/29（土） 入試相談会 in 理大祭
- 11/3（木・祝） 高校生のための公開授業
- 11/26（土） 推薦・AO入試対策相談会
- 1/21（土） キャンパス入試相談会
- 3/20（月・祝） 春のオープンキャンパス&入学相談会

みんなで防ごう! ハラスメント

「テクノロジー・ハラスメント」(テクハラ)にご用心

ITやシステムに詳しい方が、知らず知らずのうちに引き起こしてしまうことが多いハラスメントに「テクノロジー・ハラスメント(テクハラ)」があります。例えばパソコンやシステムなどに詳しい人がそうでない人に対し、わざと理解できそうな専門用語などで指示を出したり、相手が対応できない場合には侮辱的な言葉などで叱責したりするいじめを含むハラスメントです。「そんなことでもできないの?」などの言葉の暴力や、簡単なことをわざと難しく説明してオロオロするところを喜んだりすることなどもその一例です。

人は何かに詳しくなると、その分野においては自分より詳しくない人を一段下に見てしまう傾向があります。皆さんの中でも新人や環境が変わって不慣れな人のみならず、たとえ目上の人であってもその分野での知識や経験が皆さんの方があると思われる場合に無意識のうちにハラスメントまがいの対応をしてしまうこともあるかもしれません。「自分の環境が変わった時や、もっとずっと詳しい人からテクハラを受けたらどうだろう?」と考えると、話し方など対応に気を遣うことができるのではないのでしょうか?

またテクハラには、「誰でも被害者にも加害者にもなり得る」という側面もあります。自分よりずっと詳しい人などからテクハラを受けた腹いせに、別の人に対して知らず知らずのうちにテクハラまがいの対応をした経験は、もしかしたら皆さんにもあるかもしれません。

夏も過ぎ、さまざまなことに慣れ、気が緩みがちになる季節です。不慣れな人などを見ると、慣れた分だけイライラすることもありますが、テクハラは人間関係を悪化させるだけです。この分野以外ではその人の方が詳しい場合もあるので、「自分は“たまたま”この限られた部分だけは、ちょっとその人より知っているだけ」と考え、丁寧に対応することを心がけましょう!

みんなで防ごう! アカ・セク・パワーハラスメント特設ホームページ
(大学概要/本学の取り組み/社会活動/ハラスメント防止のために)

<http://www.tus.ac.jp/harass/>



メディアの変革期に舵取りをする出版社トップ

佐藤隆信さん (株式会社 新潮社 代表取締役社長)

理科大での経験で体得した「デジタル的思考」が、激変する出版業界でのビジネスに役立っています。



新潮社の倉庫が生まれ変わったラカグ

「高校時代から勉強が大嫌いでした(笑)。でも、数学だけは好きだったんです」

理科大を受験した理由について聞くと、佐藤隆信さんは冗談めかしてこう答えた。



佐藤隆信(さとう・たかのぶ)
1974年、東京理科大学工学部電気工学科卒業。同年、株式会社電通第一に入社。85年新潮社入社。88年取締役に就任。93年取締役副社長に就任。96年代表取締役社長に就任。

大学卒業後、佐藤さんは電通を経て新潮社に入社。その後、社長に就任した頃から、ネット通販や電子書籍の登場など、出版界の状況は大きく変わり始めた。

「当社のような老舗出版社では、良質なコンテンツを生み出すノウハウや人材は社内に蓄積されています。それらを時代に即応してどう売っていくかとい

うところで、私が理科大や電通で学んだことが、少しは役に立っているのかなと思います」

その一つが、大学時代にプログラミングを経験し、「デジタル的思考」を身に付けたこと。もう一つは電通でのセールスプロモーションの経験だという。

「従来なら、大まかな方向性だけを定めて、あとは現場に任せるほうがうまくいくケースが多かったと思うのですが、現在は、めまぐるしく変化するメディア状況を見て、個別具体的に、かつスピーディーに判断を下していかなければなりません。これまではない新しい発想が必要とされています。その際には、入社前の経験がその新しい発想につながることもあります」

従来の出版社にはない発想、たとえば、2014年に神楽坂にオープンした商業施設「ラカグ(la kagu)」は、その好例と言えるかもしれない。この施設は、新潮社がかつて使っていた倉庫を改装したもの。「衣食住+知」をキーワードに、上質な家具や生活雑貨を扱う傍ら、

新潮社が主体となって企画・運営する「sōko(ソーコ)」というレクチャースペースでは、作家たちのトークショーや小さな展覧会などのイベントも開催している。

「私が入社した頃には、“作品の持つ実力どおりに本が売れている”という実感がありました。しかし現在では、本来もっと売れるべき本が、そのポテンシャルどおりに売れていない状況にある。これでは本がかわいそうです。「la kagu」のような出会いの場を通じて、伝えるべき人に情報を伝え、きちんと売れる状況をつくっていきたく、まずはリアルなイベントを通して、本との新しい出会い方を発信していきたいと思っています」

理科大の後輩たちにメッセージを、とお願いすると、こんな答えが返ってきた。

「理工系の学生にこそ小説を読んでほしいと思っています。文学を味わい、感性を磨くことで人生は豊かなものになる。ぜひ学生のうちに、豊かな読書体験をしてほしいですね」

サイエンスフェア2016 in松山を初開催 約1,100人が来場

8月20日(土)、松山市コミュニティセンター(愛媛県松山市)で、科学実験・体験イベント「サイエンスフェア2016 in松山」が開催されました。本イベントは小学生とその保護者を対象に、体験を通して科学の面白さを実感してもらう企画で、今年松山市と締結した「夏目漱石・坊っちゃん」をゆかりとした文化交流、科学啓発等に関する協定」を基にした連携事業として開催されました。

当日は約1,100人の方にお越しいただき、多くの子もたちで賑わいました。

会場では、さまざまな研究室による実験体験ブースや、理工学部電気電子情報工学科木村真一教授のスペクタクルショー「宇宙の最前線に触れてみよう!」などが行わ

れ、子どもたちは「普段できない面白い体験ができた」「宇宙の話が聞けて楽しかった」と夏休みに楽しい思い出ができたようでした。

木村教授のスペクタクルショー



諏訪理大・星野祐教授開発のオムニライドに試乗する参加者



DNAの様子を見る実験

進路

平成28年度 国家公務員採用 総合職試験結果

人事院は7月29日(金)、平成28年度国家公務員採用総合職試験の最終合格者を発表しました。全国の申込者数は昨年度より101人増の21,883人、合格者数は昨年度に比較し285人増の2,011人で、競争倍率は10.9倍でした。

本学の合格者数は昨年度から増加の47人(昨年度45人)で、これは大学別順位では全大学中第12位、私立大学中では第4位という結果です。昨年度同様、健闘した結果となりました。

本学で学んだ知識・技術を活かし、社会全体に貢献できるのが国家公務員の仕事です。特に、科学技術立国として発展したわが国が今後更に発展するために、理工系出身者の担う役割は益々重要性を増しています。国家公務員採用総合職試験に合格し、文部科学省・国土交通省・特許庁などに入省した本学の卒業生は、わが国の政策立案に深く携わり、世界を舞台に活躍しています。

なお、国家公務員採用総合職試験には「提示延期」という制度があり、合格から3年間は入省資格があるので、大学院進学希望の学生にとって、あらかじめ自分の選択肢を広げることも可能です。

また、本学では次年度試験に向けて、各

●平成28年度 国家公務員採用 総合職試験 出身大学別最終合格者数

順位	大学名	合格者数
1	東京大学	433
2	京都大学	183
3	早稲田大学*	133
4	慶應義塾大学*	98
5	東北大学	85
6	大阪大学	83
7	北海道大学	82
8	九州大学	63
9	中央大学*	51
10	東京工業大学	49
11	名古屋大学	48
12	東京理科大学*	47
13	一橋大学	43
14	神戸大学	40
15	岡山大学	38
16	千葉大学	37
17	筑波大学	31
18	東京農工大学	30
19	明治大学*	27
20	立命館大学*	26

*は私立大学を表す

種支援行事を9月下旬から開催し、公務員志望者を全面的にバックアップしております。キャリアセンターには過去問題や参考書など、数多くの公務員関係資料があり、随時相談にも応じていますので積極的に活用して下さい。

※本学においては、試験合格者に対して表彰および奨学金の支給を行っています。今年度合格者は各キャンパスキャリアセンターに申し出て下さい。

松竹芸能の舞台上で本学学生が「笑育」の成果、漫才披露

8月19日(金)に松竹芸能の新宿角座の舞台上、本学学生が漫才を披露しました。

漫才を披露したのは、「笑育」の最終授業で行われた「理-1グランプリ」で優勝したコンビ「わだにしこり」の二人(理学部第一部数学科3年和田一毅さん/理学部第二部数学科3年錦織護直さん)です。「笑育」とは、教職教育センターの井藤元講師が松竹芸能株式会社の協力のもと企画した新しいプログラムで5月から7月まで全9回開講され、笑いの中にある思考力・発想力・イメージ力、共に舞台に立つ

「相方」と協働する力などを学びました。

「わだにしこり」の二人は、単位取得に四苦八苦する学生の話など、本学ならではのネタで会場を沸かせました。

漫才を披露し終えた二人は「すごく緊張しましたが、うまくできました。笑育を通して、人に何かを伝えるには相手によってコミュニケーションの取り方を変える必要があること、人に話す時、人の話を聞く時の大切さなど、さまざまなことを学ぶことができました」と感想を語りました。



漫才を披露する和田さん(左)と錦織さん

発行所
東京都新宿区
神楽坂1-3
東京理科大学広報課
☎03-3260-4271
http://www.tus.ac.jp/